

消費者啓発に関する取り組み

代表者 人間文化研究科 教授 伊藤恭彦

連絡先 itou@hum.nagoya-cu.ac.jp

連携・協力者 名古屋市スポーツ市民局

ポイント

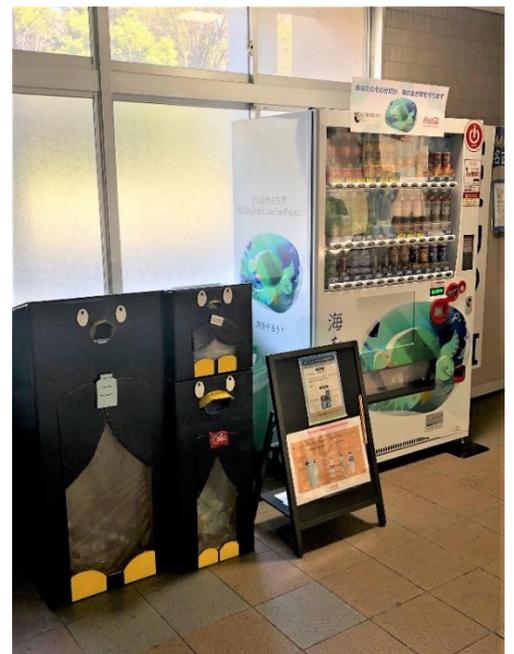
学生ならではの視点で消費者教育・啓発を行っています

1 概要

- ・若者の視点やアイデアにより消費者問題について効果的な普及啓発を図ることを目的に、消費者啓発に関する事業を名古屋市スポーツ市民局から受託して実施しています。
- ・人文社会学部の伊藤恭彦ゼミの学生が、平成26年度から啓発リーフレットの作成や、名古屋市消費生活フェア（平成27年度～令和5年度）において、ブース出展やステージ発表を行っています。

2 活動内容

- ・令和5年度もコカコーラボトラーズジャパンが推進しているペットボトルの水平リサイクル（ボトルtoボトル）の啓発に協力する活動を行いました。具体的には昨年度レンゴー株式会社豊橋工場と連携して作成した、ペットボトルを本体、蓋、ラベルに分けて回収する啓発型リサイクルボックス（ペンギン型リサイクルボックス）を市民の方に利用していただく実証実験を行いました。実証実験は令和5年9月6日と10月15日に名古屋港水族館で実施し、来館者の方と対話したりアンケート調査をしたりしました。また令和6年2月からは名古屋市港区役所に設置し市民の方に利用してもらっています。
- ・令和5年12月20日に開催された名古屋市立大学SDGsセンター主催のシンポジウム「ともに考える教育の未来」でリサイクルボックスを使った活動内容を発表しました。



学生がデザインした
啓発自販機とリサイクルボックス

3 成果

- ・令和5年11月18日に開催された消費生活フェアでもリサイクルボックスを展示し来訪者の方から意見を伺いました。
- ・活動の成果を元に名古屋市環境局ごみ減量部減量推進室と連携してプラごみ削減啓発動画を作成し、名古屋市役所のホームページから発信しました。



名古屋港水族館での活動